Presentation Materials（会社説明資料）

2012年12月26日（水）

株式会社　神戸物産

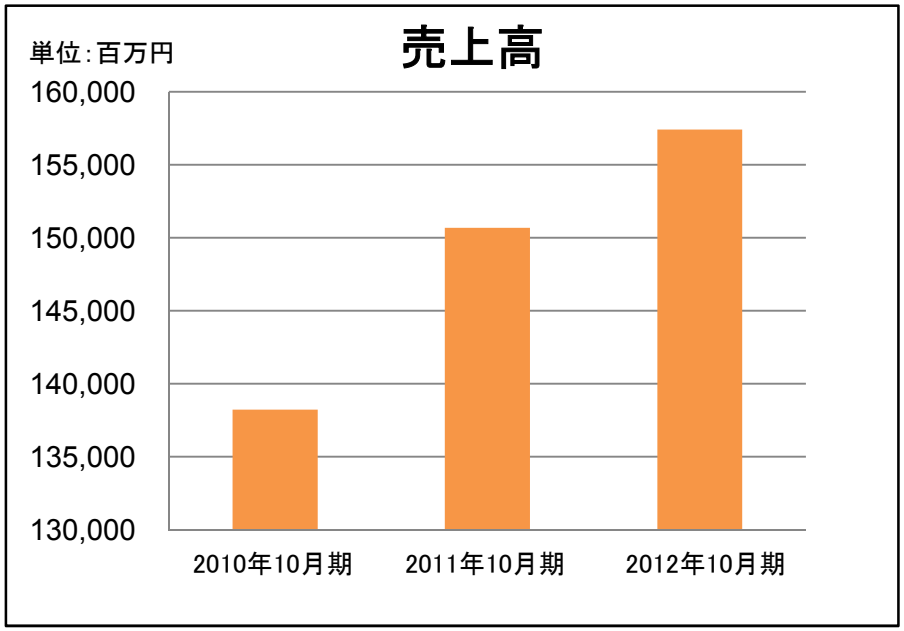
目次

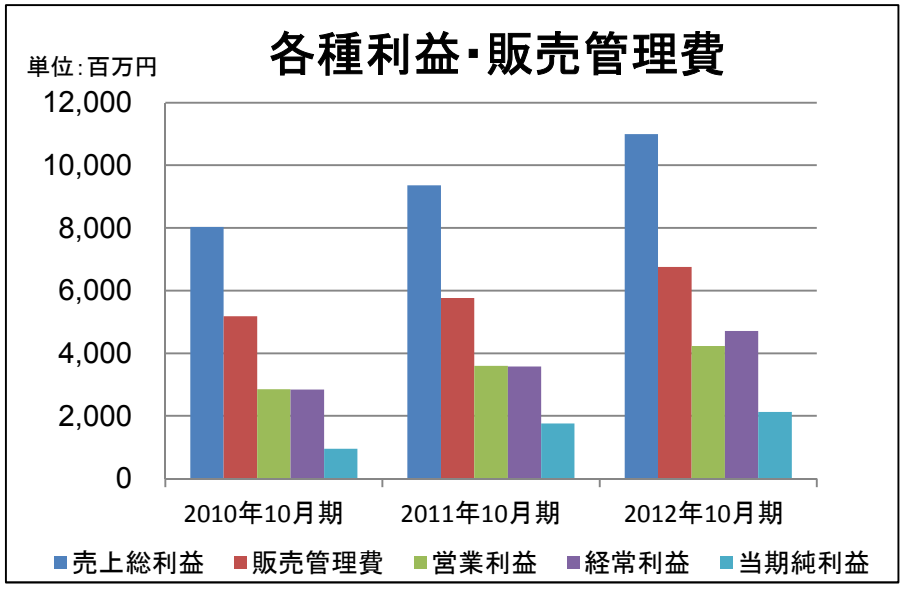
- 連結業績ハイライト 1
- 神戸物産の沿革 2
- 会社概要
  - 神戸物産の取り組み 3
  - 製販一体　第1次産業 4
  - 製販一体　第2次産業 5
  - 製販一体　第3次産業 6
- 第3次産業
  - 業務スーパー 7
  - 中食・外食業態 9
  - 新外食業態 Green’s K 鉄板ビュッフェ 10
- 連結業績の概要　貸借対照表 11
- 販売管理費内訳 12
- 今後の取り組み 13
- 株価の推移 14

連結業績ハイライト

単位：百万円

事業年度	2011年10月期 連結累計期間 （売上比率）	2012年10月期 連結累計期間 （売上比率）	増減比率
売上高	150,682(100%)	157,412(100%)	4.5%
売上総利益	9,356(6.2%)	10,991(7.0%)	17.5%
販売管理費	5,760(3.8%)	6,756(4.3%)	17.3%
営業利益	3,596(2.4%)	4,234(2.7%)	17.7%
経常利益	3,581(2.4%)	4,709(3.0%)	31.5%
当期純利益	1,754(1.2%)	2,123(1.3%)	21.0%





神戸物産の沿革

1981年	4月	兵庫県加古川市神野町石守において、フレッシュ石守として食品スーパーを開業
1985年	11月	有限会社フレッシュ石守を兵庫県加古川市に設立
1991年	4月	株式会社フレッシュ石守に組織変更
1992年	7月	大連福来休食品有限公司を中国遼寧省に設立
2000年	3月	「業務スーパー」FC1号店を兵庫県三木市に開店
2001年	10月	株式会社フレッシュ石守が旧株式会社神戸物産を吸収合併し、同時に株式会社神戸物産に社名変更
2004年	1月	神戸物産(香港)有限公司を中国香港行政区に設立
2004年	2月	神戸物産(安丘)食品有限公司を中国山東省に設立
2006年	4月	「神戸クックワールドビュッフェ」FC1号店を兵庫県加古川市に開店
		本社事務所を兵庫県加古郡稲美町に移転
2006年	6月	大阪証券取引所市場第二部に株式を上場
2006年	10月	KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnershipをエジプトに設立
2007年	10月	関西物流センターを神戸市灘区に開設
2008年	3月	株式会社オースターエッグ、株式会社プライムリード、株式会社ターメルトフーズをグループ会社とする
2008年	4月	株式会社ベストリンケージを設立
2008年	10月	株式会社神戸物産エコグリーン北海道を設立
2008年	11月	株式会社ソイキューブを設立
2009年	2月	株式会社マスゼンを設立
2009年	3月	秦食品株式会社を設立
2009年	4月	株式会社神戸ほっとデリを50%出資で設立し、株式会社ローソンとの合弁会社とする
2009年	5月	株式会社肉の太公、宮城製粉株式会社を設立
		「Green's K」FC1号店を東京都江東区に開店
2009年	10月	株式会社麦パン工房を設立
2010年	2月	株式会社神戸クックを設立
2010年	6月	株式会社OK's クリエイトを50%出資で設立し、株式会社オークワとの合弁会社とする
		株式会社オーデリカ's Kを株式会社神戸クックが50%出資で設立し、株式会社オークワとの合弁会社とする
2010年	10月	Kobe Bussan Green Egypt Co., Ltd.をエジプトに設立
2011年	3月	株式会社エコグリーン埼玉を設立
2011年	8月	新業態「Green's K 鉄板ビュッフェ」1号店を和歌山県に開店
2011年	10月	株式会社川口工業を設立
		株式会社神戸機械製作所を設立
2011年	11月	株式会社グリーンポートリーを設立
2011年	12月	新業態「デリマーケット」1号店を兵庫県に開店
2012年	2月	珈琲まめ工房株式会社を設立
2012年	8月	メガソーラープロジェクトを開始

会社概要
～神戸物産の取り組み～

神戸物産グループ目標＝「第6次産業『真』の製販一体」

第一次産業 1 農業



日本最大級規模の自社農業





北海道に約1500ｈａの広大な自社農地で日本最大級規模の農業を目指しています。函館では地熱を使った大型エコハウスを600棟以上建て、日本最大のエコハウス栽培を目指します。

水産



目指せ！漁船4隻保有、漁獲量10ｔ！

自社大型漁船（第28明神丸）で漁獲した魚を鮮度感抜群のまま自社食品加工工場にて加工し、業務スーパーで販売する日本初の新しい流通を目指します。

畜産



自社栽培のデントコーンや牧草を飼料にしたエコ畜産の運営を目指します。

自社牧場、自社飼育で“目指せ！日本最安値”の国産牛

養鶏



目指します！自社“健康”を重視した抗生物質不使用の無薬鶏の自社養鶏！



第二次産業 2 加工工場





国内17自社関連工場

㈱オースターエッグ
㈱ターメルトフーズ
㈱神戸物産エコグリーン北海道
㈱ソイキューブ
泰食品㈱
㈱マスゼン
㈱肉の太公　第1工場・第2工場
宮城製粉㈱　第1工場・第2工場・第3工場
㈱麦パン工房
㈱エコグリーン埼玉
㈱グリーンポートリー
珈琲まめ工房㈱

（厨房機器・食品工場用機械製造・販売）
㈱川口工業　㈱神戸機械製作所

第三次産業 3 業務スーパー

全国約620店舗



プロの品質とプロの価格
業務スーパー®

会社概要
～製販一体　第1次産業～

○農業・畜産

＜株式会社神戸物産エコグリーン北海道＞

所有地面積（2012年10月31日現在）：約1,500ha
農地・牧場として累計2,000haの取得を目指します。

＜KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnership＞
保有農地面積（2012年10月31日現在）：約2,900ha
根菜類などのテスト栽培を継続しております。





○水産

宮城県石巻市の漁船を購入し、漁業を開始しました。
水揚げされた魚は市場を通さず業務スーパーで直接販売され、
新鮮な状態でお客様にお届けさせて頂きます。





○養鶏

株式会社グリーンポートリーにおいて、「吉備高原どり」を
養鶏しております。
その日に処理された鶏を、当社独自の温度管理と菌数管理に
よって新鮮なまま業務スーパーに納品しております。





会社概要
～製販一体　第2次産業～

国内外のグループ工場

大連福来休食品有限公司
神戸物産（安丘）食品有限公司
株式会社オースターエッグ
株式会社ターメルトフーズ
株式会社ソイキューブ
秦食品株式会社
株式会社マスゼン
株式会社肉の太公
株式会社麦パン工房
宮城製粉株式会社
株式会社神戸物産エコグリーン北海道
株式会社エコグリーン埼玉
株式会社川口工業
株式会社神戸機械製作所
株式会社グリーンポートリー
珈琲まめ工房株式会社



※北海道の農地で収穫された作物が国内自社工場で製品加工されています。

会社概要
～製販一体　第3次産業～

内食

●飲食店事業者が扱う業務用サイズから一般消費者サイズまで多様な品揃え。
●徹底したローコストオペレーションによるEDLP体制。

プロの品質とプロの価格
業務スーパー®

中食・外食

●グループ工場で作り上げる各パーツを組み合わせ店内調理することで、出来立て熱々の商品を提供し、食材廃棄ロスの低減、リーズナブルな料金設定が可能に。
●新業態「Green’s K 鉄板ビュッフェ」の継続的出店。

WORLD BUFFET KOBE COOK

Green's K Deli Style Market

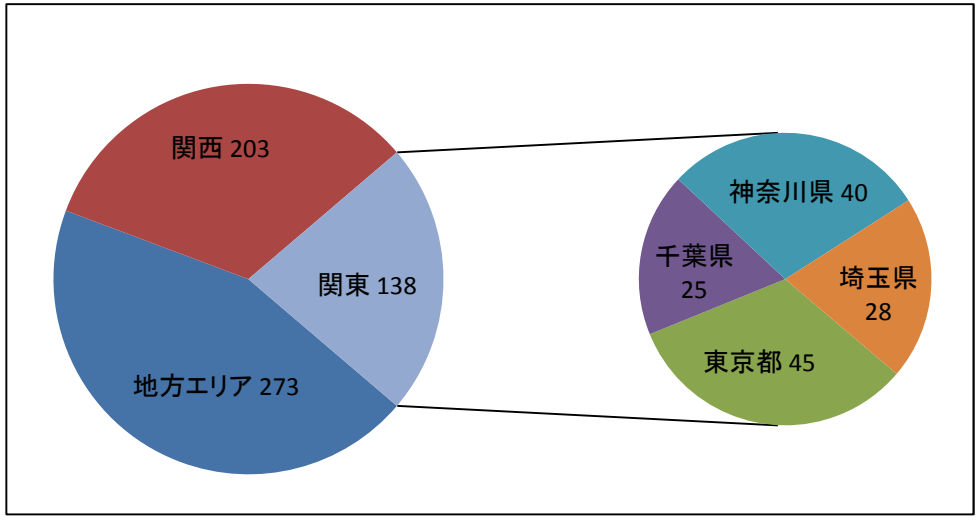
Green's K 鉄板ビュッフェ

第3次産業①
業務スーパー

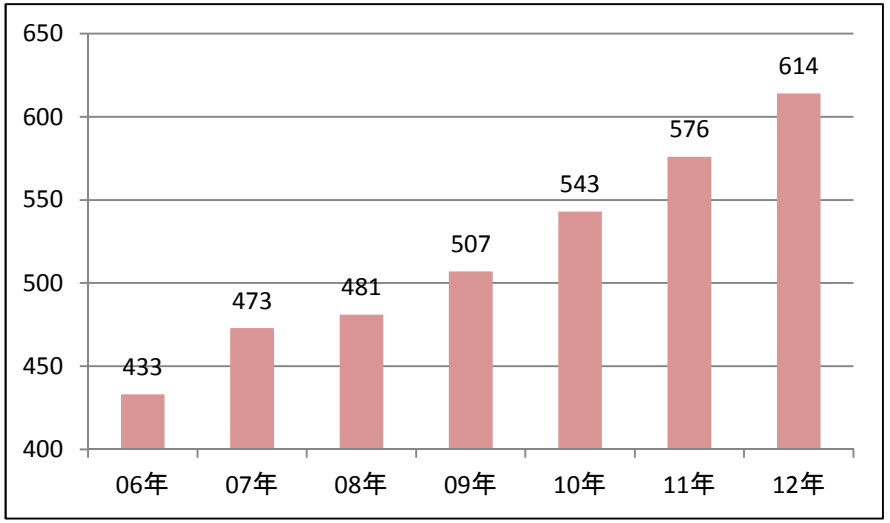
①業務スーパーの概要

自社で生産加工した商品を始め、世界各国から輸入した商品を販売するプロ向けスーパー
店舗数：614店舗（2012年10月31日現在）
店舗の場所等詳しい情報は下記URLをご参照下さい
http://www.kobebussan.co.jp/shop/

②地域別の業務スーパー店舗数



③店舗数の推移



関東：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県
関西：大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県

業務スーパー店舗の様子

店舗外観



ダンボール陳列



資材売場





冷凍ケース



均一コーナー



冷蔵陳列

第3次産業②
中食・外食業態

神戸クックワールドビュッフェ

世界各国の料理をビュッフェ形式で提供するレストラン
店舗数：12店舗（2012年10月31日現在）
形態：単独店舗・ショッピングセンターイン型
場所：兵庫県・広島県・宮城県など
店舗の場所等詳しい情報は下記URLをご参照下さい
http://www.kobecook-wb.jp/shop/









Green’s K

出来立ての惣菜を提供する小型スーパー
店舗数：15店舗（2012年10月31日現在）
形態：単独店舗・スーパーイン型
場所 ：兵庫県・大阪府・愛知県・静岡県など
店舗の場所等詳しい情報は下記URLをご参照下さい
http://www.greensk.jp/gk_tenpo.html





新外食業態
Green’s K 鉄板ビュッフェ

Green's K
鉄板ビュッフェ

＜特徴＞
- ビュッフェとセルフクックが融合したレストラン
- 各テーブルに鉄板をセット
- ヘルシーな食材
- 日本初の試み
- 人件費の大幅な削減が可能

＜店舗数＞
13店舗（2012年10月31日現在）

＜場所＞
兵庫県・大阪府・和歌山県・三重県・広島県

店舗の場所等詳しい情報は下記URLをご参照下さい
http://www.greensk.jp/teppan/iron_tenpo.html









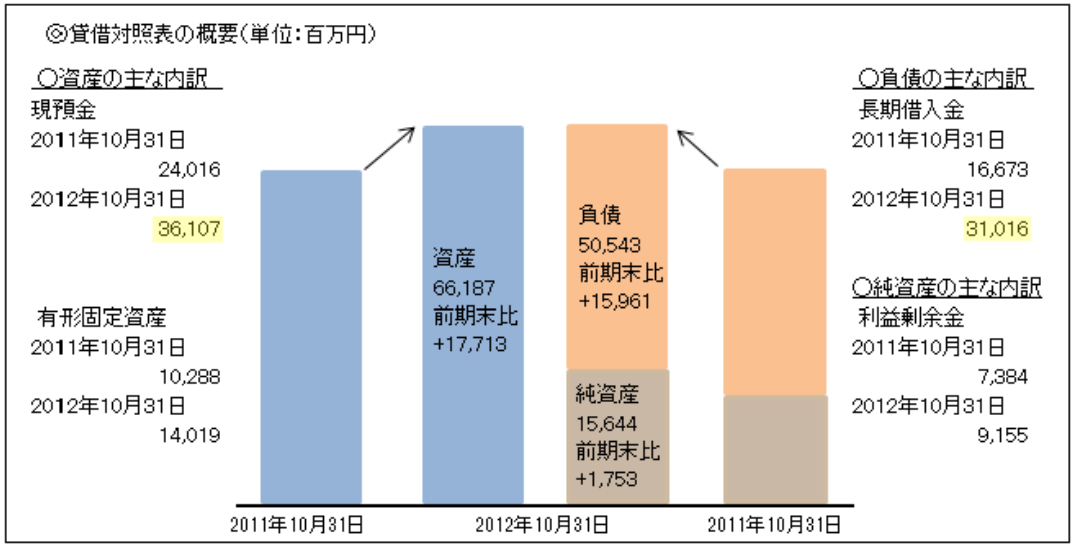




連結業績の概要　貸借対照表

単位：百万円

事業年度	2011年10月期	2012年10月期	増減
流動資産	36,612	50,252	13,640
固定資産	11,861	15,935	4,074
資産合計	48,473	66,187	17,714
流動負債	14,021	15,400	1,379
固定負債	20,561	35,142	14,581
負債合計	34,582	50,543	15.961
純資産	13,891	15,644	1,753



	10年10月期	11年10月期	12年10月期
ＰＥＲ	13.42倍	9.60倍	7.74倍
ＰＢＲ	1.00倍	1.21倍	1.05倍
ＥＰＳ	118.12円	223.61円	271.20円
ＢＰＳ	1,578.36円	1,773.89円	1,996.37円
ＲＯＥ	7.55%	12.63%	13.58%
1株配当額	40.00円	45.00円	60.00円
配当利回り	2.52%	2.10%	2.38%
純資産	12,567百万円	13,891百万円	15,644百万円
当期純利益	948百万円	1,754百万円	2,123百万円
有利子負債	12,088百万円	17,130百万円	31,473百万円
現預金	21,096百万円	24,016百万円	36,107百万円
自己資本比率	30.50%	28.70%	23.63%

EPSは10年10月期から2.30倍に増加

BPSは10年10月期から1.26倍に増加

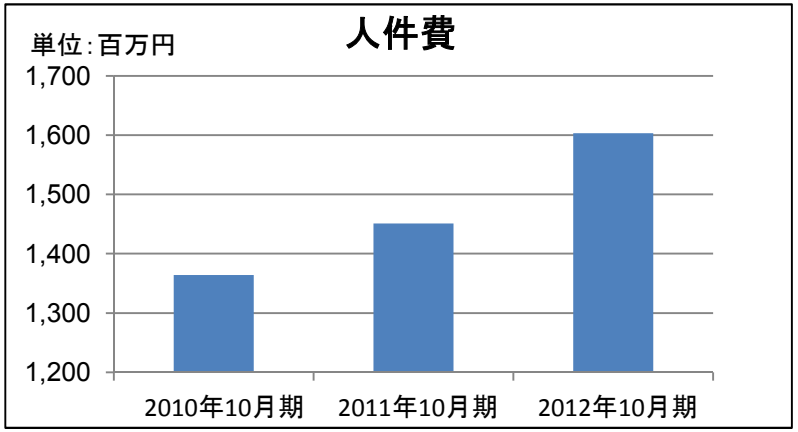
ROEは10年10月期から6.03ポイントの増加

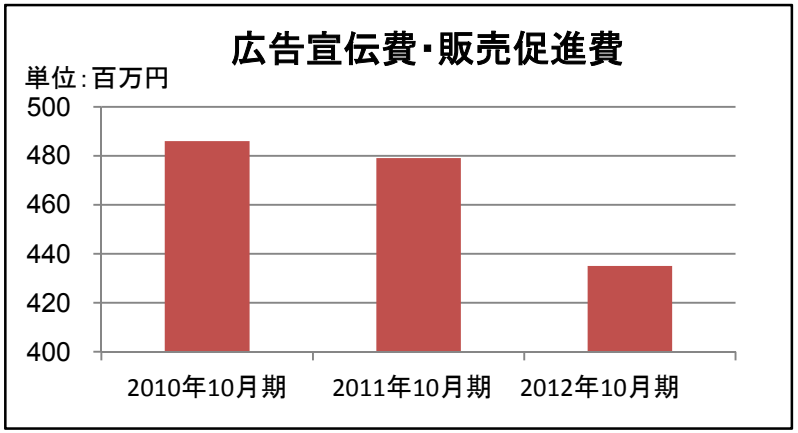
有利子負債は増加しておりますが、現預金はそれ以上に保有しております。

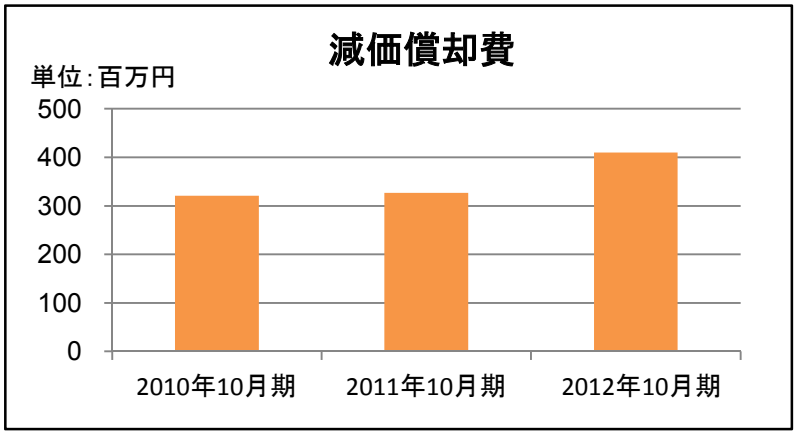
販売管理費内訳

単位：百万円

事業年度	2011年10月期 連結累計期間 （売上比率）	2012年10月期 連結累計期間 （売上比率）	増減比率
人件費	1,451(1.0%)	1,603(1.0%)	10.5%
広告宣伝・ 販売促進費	479(0.3%)	435(0.3%)	△9.2%
減価償却費	327(0.2%)	410(0.3%)	25.4%
研究開発費	50(0.0%)	133(0.1%)	166.0%
その他	3,456 (2.3%)	4,175(2.7%)	20.8%
総計	5,763(3.8%)	6,756(4.3%)	17.2%



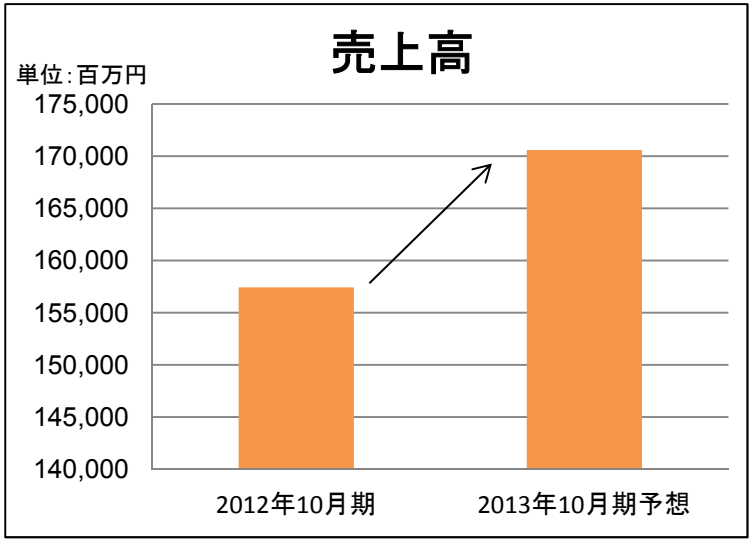


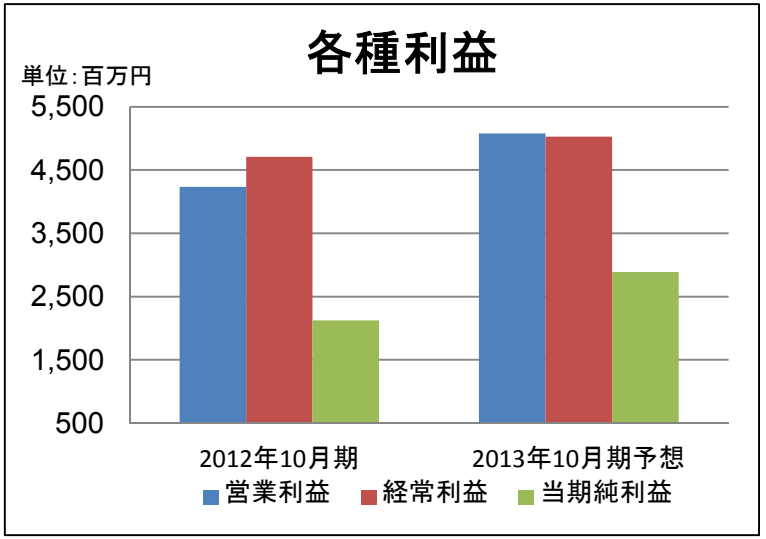


今後の取り組み

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年10月期実績値（連結）	157,412	4,234	4,709	2,123
2013年10月期予想（連結）	170,600	5,080	5,030	2,890
増減率	8.4%	20.0%	6.8%	36.1%

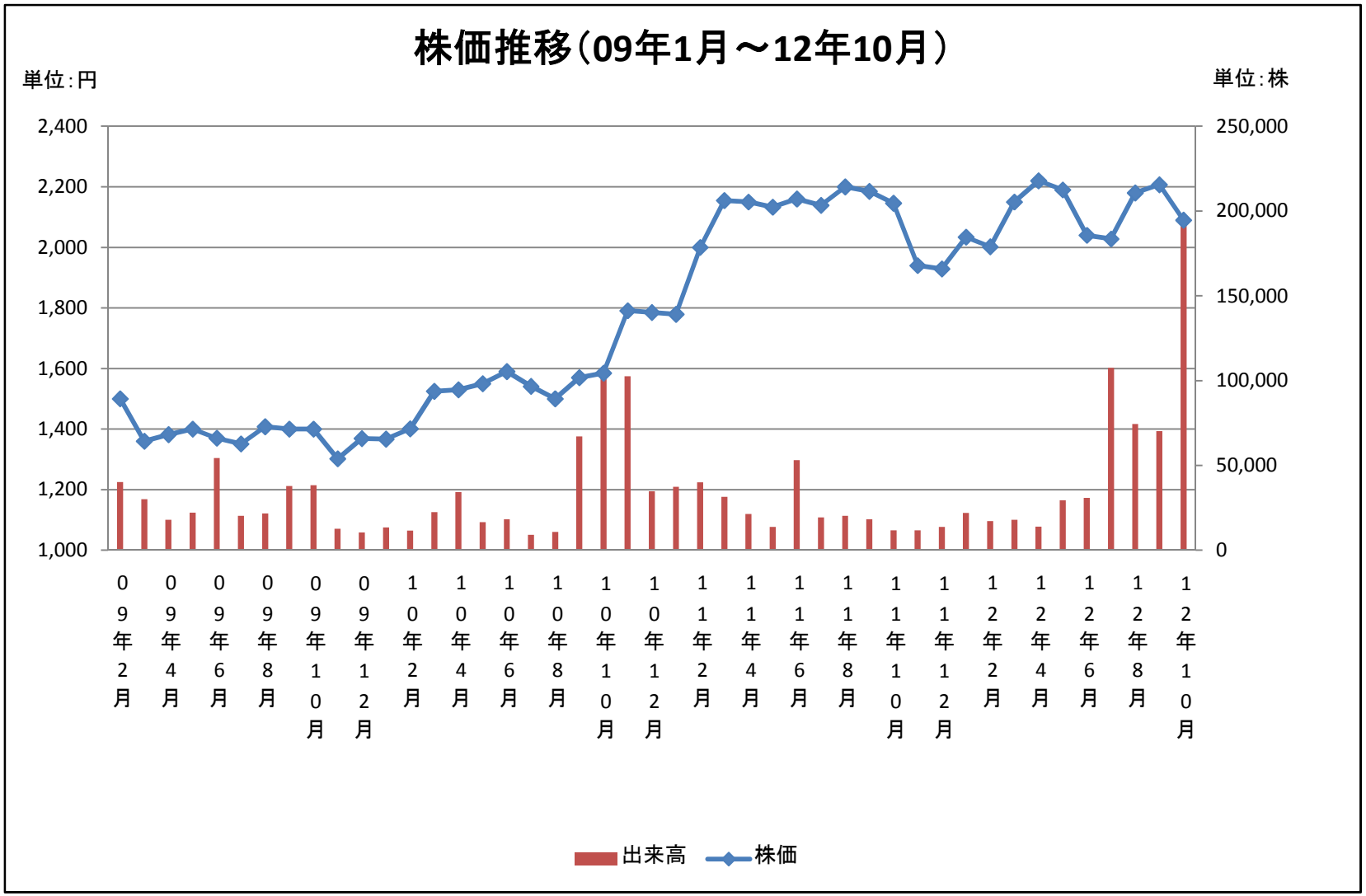




＜当社の今後の取り組み課題＞

- 貿易、冷凍、業務用のオリジナル商品の開発強化
- 食品工場、農畜産業の更なる強化
- 海外メーカーの協力体制、開拓強化
- 品質管理体制の強化（人材育成）
- 時間コストを削減し、ムダ・ロス・非効率を徹底的に排除
- キャッシュフローの有効利用（有形資産の取得）
- 新規FC加盟店様の開拓
- 「真」の製販一体体制の構築
- 業務スーパー店舗数の増加（40店舗増）
- 安全・安心確保のための商品管理
- 外食店舗数の増加（20店舗増）
- 鉄板ビュッフェの海外展開

株価の推移



※基準日（10月）の株価については09年10月期から1.50倍に上昇しております。

- 本資料には、平成24年12月26日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。

- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承くださいませ。

- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではございません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
経営企画部門　矢合・榎本
TEL：079-496-6616
FAX：079-496-6620